

本気 (1)本気になる。両手掌に唾をつけ両手をすり合わせる。「さア、やるぞ」と云う身振。(2)本気で云う。ほんとうー心ー云う。

本家 本一家

凡人 考えー腕ー普通ー人々。

ほんとう 五指の指頭を上になしし掌を左側にした右手を額



の「真実」。

の上に直角に一度二度打つ。これは片手で押んだ手を口もとにもって来た身振。「拝む」心

マ

毎度 (1)「毎日」と同じ手まね。(2)「度

々」と同じ手まね。

毎日 人差指(上に)と親指(下に)を弧形にまるく開いた両手を前方で少しの間隔を置いて向い合わせ大きい円形をかたどり(太陽)それをそのまま上へ手前の方へ弧を描いて、下へまた前方へとこの運動を二三度繰返す。日が出て日が入りと繰返す毎日。「いつも」「常に」の手まねにもなる。

参る (1)行く。(2)行くー拝む。(3)降参。

任かす 「責任」の手まねをして、その手をそのまま前方へさし出す。責任を先方へ渡す。

負ける 五指の指頭を上になしして、内側にした掌で鼻頭を押える。負けて鼻がべしやんこになるの意。

孫 息子(中指) 女性(中指) 息子(中指) 娘(中指) 生れるー女性(中指) 息子は娘を表わした位置から更に下方へ生まれる男性(中指) 或は女性(薬指)を示す。生

れるが二重になるわけである。

真心（誠）「誠意」と同じ手まね。

優さる (ハ) 五指の指頭を上になし前に向けた左手の掌に、指頭を上になしした人差指の右手をつけ、その手をそのまま上へすり上げて人差指が左手の五指から上に頭角を現わす。(ウ) 「較らべる」の手まねをして次に左右何れかの手をそのまま静止しておいて、その手の上で一方の手の五指を開いて、軍配を挙げるような身振をする。何れかが「優る」こと。

真面目 「一生懸命」の手まねをして、「心」を表わして、両手の夫々集め合わせた五指の指頭で左右につけ合わせて、両手に力を入れて前に僅かに押し出す。「心」がぎっしりと固まっていること。

麻雀 人差指と親指の両手でたち並らべた麻雀の牌を前に倒おす真似。ロンした時のように。

益々 (ハ) 「更に」と同じ手まね。(ウ) 「次第に」と同じ手まね。

貧しい 指頭を上になしした親指を顎の下につけ心持顎を上へ突き上げる。貧しくて口が干上るの意味か。

又 掌を下に向けて、指頭を前方になしした人差指と中指の手を、くるりと掌を上向けに返す。

亦 掌を内側にし、指頭を上になしした人差指の左手。その人差指の隣りの折り曲げられてある中指を右手で持って伸ばす。「人差指」に更に「中指も亦」と、もう一本の指を出させた訳である。

また 五指の指頭を前方になし、掌を右側にした左手に向って直角に、五指の指頭を左になし掌を内側にした右手を接近させて、僅かな間隔を置いて左手の手前で停止させる。この右手の指頭が左手掌につけると、「終り」